



久米南町地震防災マップ

我が家で始める地震対策！

我が家の安全対策

- ①家具には転倒防止金具を取り付け転倒防止を図りましょう。また、避難時の通路を確保できるように家具を配置しましょう。
- ②窓ガラスには飛散防止フィルムを貼り、地震によるガラスの飛散を防止しましょう。
- ③いざという時の避難時の持ち物を準備しておきましょう。

地震発生時の心得

- ①火の始末を落ち着いてしましょう。
揺れがおさまったら、あわてずに確実に調理器具や暖房器具の火を消しましょう！
- ②あわてずに避難しましょう。
避難する時は、外部に瓦やガラスなどの落下物に注意し、頭部を保護しましょう。
底の厚い靴を用意しておきましょう。
- ③危険な箇所をあらかじめ把握しましょう。
高い看板、古いブロック塀の倒壊には注意が必要です。あらかじめ避難時に危険な箇所を把握し、家族で話し合っておきましょう。
- ④土砂災害に注意しましょう。
山間部で地震を感じたら、がけ崩れや落石、倒木などには注意しましょう。
- ⑤皆で協力しましょう！
お年寄りや子供、けが人などに声をかけ皆で助け合いましょう。

避難時の持ち出し品の準備

食糧品

携帯用飲料水・カップ麺・もち・乾パン・レトルト食品・チョコレート・缶詰など（赤ちゃんがいる家庭はミルク等もわすれずに）



日用品

ラジオ・カッター・マッチ・ライター・ろうそく・新聞紙・懐中電灯・軍手・使い捨てカイロ・ウェットティッシュ・電池・包帯・常備薬など



衣類関係

下着数枚・上着・靴下・タオル・セーター・ジャンパー・レインコート・毛布・帽子など



貴重品・その他

預金通帳・印鑑・現金・免許証・健康保険証、防災ずきん・ヘルメット・筆記用具など



地震による被害を防ぐには？

地震による人的被害の原因の多くは建物が倒壊して下敷きになってしまうことです。

◎地震の被害を防ぐには建物の耐震化が必要です。

あなたの家は大丈夫？ 耐震診断を受けて確かめましょう。いざという時のために、外見に異常がなくても専門家による耐震診断を受けることが大切です。

次のような建物は耐震性が不足している可能性が高く、耐震診断が必要です。

- ・新耐震設計基準の施行前（昭和56年以前）に施工された建物
- ・腐食していたり、シロアリの被害にあっていたりする建物
- ・壁の配置や窓の配置にかたよりがあったりするなどバランスの悪い建物



耐震診断・耐震補強の補助制度を活用しましょう！

耐震診断・耐震補強などには国の補助制度があります。（昭和56年5月31日以前に着工した住宅で耐震診断や耐震補強を実施する場合）
補助制度の詳細はお問い合わせ先までご連絡下さい。



耐震性は不足していたら耐震補強を行いましょ！

耐震性は不足していても、適切な耐震補強工事を行うことで安全性を確保することができます。適切な耐震補強の方法を専門家に相談し、あなたの家の弱点を解消しましょう！
リフォーム・増改築に併せて耐震補強を行うことも有効な方法のひとつです。

屋根の軽量化

土瓦等を軽量瓦やスレート等に葺きかえて軽量化し、建物の耐震性を向上します。

接合部の補強

金物やボルトを使って接合部を補強します。

はねだし部分の補強

補強フレームなどではねだし部分を補強します。

壁の補強

筋交いをいれたり、構造用合板を貼り付け補強します。

基礎の補強

基礎を丈夫な鉄筋コンクリートに替え、アンカーボルトで締めるなどして補強します。

老朽・腐朽部材の交換

老朽化した部材を交換し、建物の耐震性を向上します。



